

# 看護学部看護学科 教育課程概念図

## アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

豊かな人間性を育むとともに、看護の実践に必要な基礎的知識と能力を持ち、地域で生活する人々の健康を考え、地域包括ケアシステムと多職種連携を理解し地域社会に貢献できる看護職人材の育成

ア、看護学を学ぶために必要な基礎学力を身につけ、論理的に考え他者に伝えることができる人。

イ、看護学と看護実践能力を学ぶ主体性を持ち、多様な人々と協働して学び続けようとする意欲を持つ人。

ウ、自身と他者を大切に思い、地域で生活する様々な世代の人々の生活と健康について関心を持ち、看護の知識と技術を学ぶことができる人。

## カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

ア、「読む、考える、書く、聴く、発言する」能力を修得するとともに、幅広い教養、専門知識と高い倫理観を涵養するために、大学共通科目、専門科目（基礎分野）及び専門科目（専門分野）を全学年にわたり、バランスよく配置する。

イ、課題に対する探求する力を養うとともに、各領域の看護技術や知識の修得を図り、併せてコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養う。

ウ、地域の特徴とそこに居住する様々な世代の人々の生活と地域包括ケアシステムを理解し、臨床や在宅、生活の場における健康課題と予防的視点を含む看護支援について探求する。

| 大学共通科目   | 専門科目（基礎分野）   | 専門科目（専門分野）   | 専門科目（専門分野）   |
|--|--|--|--|
| 英語基礎Ⅰ<br>現代倫理<br>化学<br>生物<br>生命倫理<br>人文・社会・保健体育系科目 等                           | 疾病治療論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ<br>公衆衛生学等   | 成人看護学実習<br>老年看護学実習<br>地域・在宅看護学実習<br>精神看護学実習<br>母性看護学実習<br>小児看護学実習<br>家族相談援助論<br>災害看護論<br>看護マネジメント論 等 | 多職種連携チームケア論<br>看護倫理<br>卒業研究Ⅰ・Ⅱ<br>地域健康探索展開論<br>国際看護論<br>ウイメンズヘルス論<br>緩和ケア論<br>看護教育学<br>精神保健論<br>看護の統合と実践実習 等 |
| 専門科目（基礎分野）<br>人体の構造と機能<br>病理学<br>生化学<br>病原微生物と感染 等                             | 専門科目（専門分野）<br>基礎看護学方法論Ⅲ・Ⅳ<br>基礎看護学実習Ⅱ<br>成人看護学<br>老年看護学<br>地域・在宅看護学<br>精神看護学<br>母性看護学<br>小児看護学<br>の概論・援助論・援助方法論<br>がん看護学<br>地域包括ケア論<br>公衆衛生看護学概論 等 |  |  |
| 専門科目（専門分野）<br>看護学概論Ⅰ・Ⅱ<br>基礎看護学方法論Ⅰ・Ⅱ<br>基礎看護学実習Ⅰ<br>地域健康探索論Ⅰ・Ⅱ<br>地域健康探索論演習 等 |  |  |  |
| 1年次（51科目88単位）  | 2年次（32科目51単位）  | 3年次（15科目29単位）  | 4年次（13科目20単位）  |

青色 DP、CPおよびAPの ア に対応する科目  
 緑色 DP、CPおよびAPの イ に対応する科目  
 橙色 DP、CPおよびAPの ウ に対応する科目

### 教育課程の区分

| 大学共通科目                                   | 専門科目（基礎分野）                         | 専門科目（専門分野）  |
|--|------------------------------------|---|
| 人間と生活・社会の理解、科学的思考の基盤、健康とスポーツ、AI・データリテラシー | 人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度 | 基礎看護学、成人看護学、老年看護学、地域・在宅看護学、精神看護学、母性看護学、小児看護学、公衆衛生看護学、看護の統合と実践 |

## ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

ア、人の立場に立って考え行動する高い倫理観と共感性を備え、看護学の科学的知識と実践能力を持ち、自律して看護を実践し看護学の発展に寄与することができる。

イ、人間を全人的に理解し、科学的思考に基づき多様な健康レベルにある人々の健康問題を解決する判断力を有し、看護職を目指す者として使命感を持ち役割を果たすことができる。

ウ、地域の特徴や地域で生活する様々な世代の人々の健康課題を理解し、また他の医療専門職者と協働して健康課題を持つ人々への看護支援ができる。

## 養成する人材像

看護の実践に必要な基礎的・専門的知識と技術や態度を理解し、自律して看護実践を行うことができるとともに、生活する人々の多様な健康課題を理解し、高度な医療に必要な技術と支援を探求できる人材、さらに今後、変化する社会が要請する人々への支援と包括ケアシステムや多職種連携の必要性を考え、地域社会に貢献できる看護職者を養成する。

### 国家試験対策

看護師国家試験

### 卒業後進路

【看護師】→ 大学病院、一般病院、国公立病院

【保健師】→ 公務員

【多様な進路】→ 医療関連企業、福祉施設、障がい者施設、訪問看護ステーション、介護老人保健施設